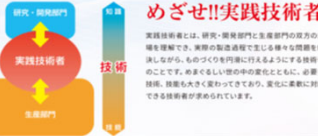
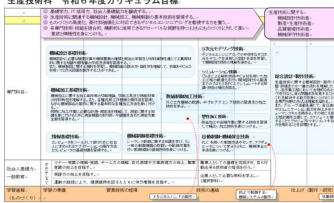
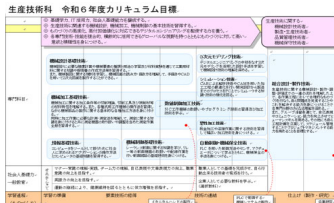


令和6年度 神奈川県立産業技術短期大学校 自己点検・評価表

大項目	小項目	項目番号	本校の状況	自己評価	評価の根拠	外部評価 平均	外部評価 委員A	外部評価 委員B	外部評価 委員C	外部評価 委員D	外部評価 委員E	入学案内	学生便覧	シラバス等	ホームページ	改善すべき点、今後の方針
教育理念	教育の基本理念を確立し、公表している	1	入学案内に記載。 ホームページに掲載。	5	公表している	5	5	5	5	5	5	【校長からあいさつ】 本校は、地域社会および経済の発展に寄与することを目的に、「高い技能と技術および学識を持つ、創造性豊かな実践技術者」の育成を理念として、神奈川県により1995年に設立された厚生労働省所管の職業能力開発短期大学校です。			【設置経緯】 //設置の目的 神奈川の先進的産業を支える実践技術者（専門的な知識と、ものづくりの幅広い高度な技能・技術を持ち、豊かな創造力と行動力を兼ね備えた課題解決型の人材）を育成するとともに、県内における職業能力開発の中核施設として、産業発展に寄与する。 【校長あいさつ】 本校は、地域社会および経済の発展に寄与することを目的に、「高い技能と技術および学識を持つ、創造性豊かな実践技術者」の育成を理念として、神奈川県により1995年に設立された厚生労働省所管の職業能力開発短期大学校です。	
	教育目標を確立し、公表している	2	入学案内に記載。 ホームページに掲載。	5	公表している	5	5	5	5	5	5	【教育目標】 新しい時代に柔軟な対応ができる実践技術者の育成 実践技術者(テクニカル・エンジニア)を育てます 創造力と豊かな人間性を育てます コンピュータサイエンスの基礎・応用力を育てます			【教育目標】 新しい時代に柔軟な対応ができる高度実践技術者の育成 高度実践技術者（テクニカル・エンジニア）を育てます。 創造力と豊かな人間性を育てます。 コンピュータ・サイエンスの基礎力・応用力を育てます。	
	アドミッションポリシーを定め、公表している	3	入学案内に記載。 募集要項に記載。 ホームページに掲載。	5	公表している	5	5	5	5	5	5	【神奈川県立産業技術短期大学校アドミッションポリシー（入学者受入方針）】 本校は、専門分野における高い技能と技術及び学識を持つ技術者を育成し、その技術者が地域産業の発展に寄与することを目的としています。こうした技術者を育成するために、次のような学生を求めています。 1.ものづくりに関心があり、専門的な知識と幅広い技術を身につけたい人 2.他者とのコミュニケーションを大切にし、自らの考えを積極的に発信しようとする人 3.将来の目標を自ら設定し、日々努力を怠らない人			【アドミッションポリシー】 本校は、専門分野における高い技能と技術及び学識を持つ技術者を育成し、その技術者が地域産業の発展に寄与することを目的としています。 こうした技術者を育成するために、次のような学生を求めています。 ・ものづくりに関心があり、専門的な知識と幅広い技術を身につけたい人 ・他者とのコミュニケーションを大切にし、自らの考えを積極的に発信しようとする人 ・将来の目標を自ら設定し、日々努力を怠らない人	
体系的な訓練課程の編成	育成する人材像と教育の重点事項を定め、公表している	4	入学案内に記載。	5	公表している	5	5	5	5	5	5					入学案内刷新により、入学案内への掲載は行わない予定のため、今後はホームページへの掲載を検討する。
	体系的な訓練課程を編成し、公表している	5	入学案内に記載。	5	公表している	5	5	5	5	5	5					入学案内刷新により、入学案内への掲載は行わない予定のため、今後はホームページへの掲載を検討する。
	学習目標を定め、公表している	6	学習時期と内容については、入学案内で公表している。 学習目標については、各学科が毎年度作成している訓練計画の中でカリキュラム目標として定めているが、公表していない。	2	学習時期は入学案内で公表しているが、学習目標は公表していない。	3.6	2	3	4	4	5			訓練計画の中で、「カリキュラム目標」として学習目標を定めている 		外部に対して公表していないため、今後は各料のホームページに掲載し、学習目標を公表していく予定である。
授業科目における訓練目標、授業の内容と方法、訓練成績評価基準を公表している	修了認定方針を定め、公表している	7	学生便覧に記載。	5	公表している	4.6	5	5	3	5	5		「Ⅱ 学習案内」 P5			
	履修科目、訓練目標、授業科目の内容と方法を公表している	8	シラバスに記載。 シラバスはホームページにも掲載。	5	公表している	4.8	5	4	5	5	5			「シラバス」に授業の概要・到達目標、授業計画・内容、使用テキスト・教材、評価方法を記載	各科ページにシラバス掲載	
	授業計画を公表している	9	シラバスに記載。	5	公表している	4.8	5	4	5	5	5			「シラバス」に授業の概要・到達目標、授業計画・内容、使用テキスト・教材、評価方法を記載	各科ページにシラバス掲載	
授業科目の適切な設計・実施・評価	成績評価基準を公表している	10	学生便覧に記載。 シラバスに記載。	5	公表している	4	2	4	5	5	4		「Ⅱ 学習案内」 P4からP5	「シラバス」に授業の概要・到達目標、授業計画・内容、使用テキスト・教材、評価方法を記載	各科ページにシラバス掲載	
	授業科目は、必要な能力を育成するよう編成・実施している	11	年度毎に作成する訓練計画のカリキュラム目標及びカリキュラム内容に基づき、必要な能力を育成するよう実施。	5	編成・実施している	5	5	5	5	5	5					
	授業実施内容を評価する仕組みをもっている	12	単位ごとに授業評価アンケートを実施。指導委員会において、情報を共有し、授業内容や実施方法の改善につなげている。また、学生には授業担当者から改善内容のフィードバックを行っている。	5	授業評価は全ての単位について行い、年2回の指導委員会で改善方法を協議している。また、結果については所管課である産業人材課に報告を行っている。	4.6	3	5	5	5	5					
適正かつ厳正な成績評価及び単位認定	成績評価を適正かつ厳格に行っている	13	成績評価基準に基づき、適正に実施。複数名で確認を行っている。	5	行っている	4.8	5	4	5	5	5					
	単位認定を適正かつ厳格に行っている	14	出席率と成績評価から、単位認定基準に基づいて修得状況を自動的に算出するシステムで適正に実施している。単位認定状況は指導委員会に報告し、委員会で進級並びに卒業判定を行っている。	5	行っている	4.8	5	4	5	5	5					

	学習成果の獲得状況を量的・質的データを用いて測定する仕組みをもっている	15	技能照査により学習成果の獲得状況を測定し、学生に結果を通知している。	5	職業能力開発促進法施行規則に基づき、専門課程の高度職業訓練を受ける者は、卒業前に受講している訓練内容に関する技能及びこれに関する知識を十分に取得したことを確認するための技能照査を実施することとされており、国の基準の細目に基づいた試験を実施して獲得状況を測定している。	4.8	5	4	5	5	5				
教育資源	教員は適切に配置され適切に教育・研究を行っている	16	指導員は適切に配置されている。また、指導員は、毎年度計画を立て、講師研究に取り組むことで自己の知識・技術の向上に取り組むとともに、分野ごと指導員同士で必要な内容を話し合い決定する分野別特定課題研修や自ら足りない知識・技術を補う専門技術研修の受講により指導員としての資質を高めるための体制が整っている。	5	行っている	3.8	4	3	4	4	4				
	教育に必要な施設・設備が整備されている	17	職業能力開発促進法の基準を満たした施設であるとともに、国の設備基準に準じており、適切な訓練機器を配備している。また、訓練機器は産業人材課の機器整備計画に基づき、優先順位をつけて計画的に更新・整備を行っている。	4	国の整備基準に基づいた種類、台数が整備されているが、更新が滞っている機器が一部存在する	3.8	4	3	4	4	4				滞っている機器について、更新を要求していく
学生支援	学生の生活支援を適切に行っている	18	授業料等減免制度、教科書・被服支給制度による経済的困窮者への支援を実施。相対奨学金制度の利用。毎週水曜日にカウンセラーを配置し、学生相談を実施。留学生には、日本語教育や定期的な面談と月例報告、入国管理局における手続きのサポート等の支援を実施。全ての科において、少人数のチューター制度により、保護者を含めた学生一人ひとりに対する相談体制を整えている。	5	適切に行っている	4.8	5	4	5	5	5				
	学生の進路支援を適切に行っている	19	入学時のオリエンテーションから就職に対する意識づけを行い、1年生の12月に就職ガイダンスを実施している。また、学生が進路を考える上での一助となるよう8月と1月のインターンシップ制度を導入している。1年生の3月には企業担当者の話を聞く「情報交流会」を、2年生の6月には「企業説明会」を当校で開催し、就職支援を行っている。令和6年度からは、構造改革特区により湘南工科大学と東京工芸大学への編入が認められ、職業能力開発大学校応用課程と並び、より高度な教育を受けられる進路を選択できるようになった。進路支援に関しても、就職担当やチューター制度による相談体制を取っており、履歴書等の書類作成や模擬面接練習も合わせて、手厚い支援を実施している。また、留学生のインターンシップや求人企業への受入れ先の開拓を行っている。	5	適切に行っている	5	5	5	5	5	5				
	学生の技術・技能の向上、資格取得を支援するとともに、褒賞制度を設けている	20	技能五輪や若年者ものづくり競技大会等への参加による技術・技能の向上や、技能検定・情報処理技術者試験などの各種資格の取得に向け、指導員による個別指導や資格取得のための講座を実施して、支援している。また、卒業時には優秀賞や努力賞の他、当校の支援団体である推進協議会の会長賞や、卒業制作の優秀賞を授与し、学生の意欲向上につなげている。	5	支援するとともに制度を設けている	5	5	5	5	5	5				
	各種団体等と連携し、学生支援を行っている	21	県内企業から組織される当校の支援団体である職業能力開発推進協議会と連携し、学生の教育支援を実施している。神奈川産業振興センターと連携し、テクニカルショウヨコハマ（工業技術見本市）において、就業の動機付けを目的に、ものづくり企業魅力発見研修を実施し支援を行っている。	4	支援を行っている	4.8	5	5	4	5	5				各種団体等と連携し、より一層の学生支援を検討していく
産業界との連携	企業（団体）との連携を推進している	22	主に職業能力開発推進協議会を通じて、インターンシップ受入れ、情報交流会、合同企業説明会の開催、各種大会への参加費用の補助、イベント時の副賞等の資金援助、コースカリキュラムのヒヤリング等を実施。テクニカルショウヨコハマで本校の活動紹介。神奈川産業振興センターと連携し、企業への在職者訓練の調整や学生の支援を実施。	5	推進している	5	5	5	5	5	5				
	企業との共同研究等を推進している	23	横浜市連合会や小田原市工業技術所等を通じた企業との共同開発の実施	4	推進しているが、一部学科にとどまっている	4.4	4	5	3	5	5				より一層の推進を検討していく
地域連携・地域貢献	高校との連携を推進している	24	高校での模擬授業、分野別説明会、進路ガイダンスへの参加、高校教育審議会へのオブザーバー参加、夏期連携講座の実施、キャリア教育の実施、かながわP-TECHの実施、クリエイティブ校の学校見学等を行っている。高校生ものづくりコンテストの競技会場施設貸しと運営協力	5	推進している	5	5	5	5	5	5				
	高等教育機関等との連携を推進している	25	推薦制度による大学への編入学の実施。山梨短大との競技会練習会実施。関東職業能力開発大学校のポリテクビジョン（研究発表会）への参加。	4	連携しているが、より多くの連携を見込める	4.4	5	4	4	5	4				より一層の推進を検討していく
	民間団体、行政、地域等と連携している	26	神奈川県情報サービス産業協会と連携し、在職者訓練（セミナー）の計画を検討。横浜市の教育支援専門員を対象とした見学会の実施。近隣の小学校と連携し、本校の見学ツアーやものづくり体験教室を実施。文化祭による地域住民への活動紹介。	4	連携しているが、より多くの連携を見込める	5	5	5	5	5	5				より一層の推進を検討していく
入学生確保・情報発信	志願者確保のための効果的な広報を行っている	27	入学案内の作成 HP・SNSを通じた広報 最寄りの相鉄線二俣川駅ホームへのポスター掲示 オープンキャンパス・エンジニアセミナーの実施 高校訪問 高校進路ガイダンス・分野別説明会への参加 出前授業・模擬授業の実施 夏季連携講座の実施 オープンキャンパスでの学生協力を検討	3	志願者数が低迷しており、より効果的な広報の方法を検討し展開していく必要がある	4.2	5	4	4	4	4				志願者確保のため、次の取組みを実施予定 ・学科の愛称を新たに設定 ・入学案内の刷新 ・HPの見直しとSNSによる効果的な情報発信の方法検討 ・高校内ガイダンスへの積極的な参加と、内容の随時見直し ・オープンキャンパスの実施方法検討
	知名度向上のため学校全般の情報発信を強化して行っている	28	入学案内を高校生に魅力のある内容に刷新 HP・SNSの充実 ジオターゲティングGoogle広告掲載 広報用動画の作成とYoutubeへの掲載 神奈川県広報番組「カナフルTV」の特集と放映 進学情報検索サイト「進路の広場」掲載 高校進路ガイダンス、分野別説明会、模擬授業への積極的な参加 推進協企業支援による高校内ガイダンスへの卒業生の協力を検討 推進協企業支援による女子エンジニア交流会の実施を検討	3	取組みを進めているが、志願者数が低迷しており、より情報発信の強化を行っていく必要がある	4.2	5	4	4	4	4				知名度向上のため、情報発信強化に向け、次の取組みを実施予定 ・入学案内の刷新 ・HPの見直しとSNSによる効果的な情報発信の方法検討 ・高校内ガイダンスへの積極的な参加 ・進路検索サイトへの情報掲載